

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	太陽の村 放課後クラブ 横山事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 13日		～ 2026年 1月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2025年 2月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	横山公園が隣接しており、天気の良い日は外での活動をすぐに行う事が出来る。	節分やお月見などの季節の行事を行い、児童に一年の移り変わりや日本の文化を学んでいただいている。	号令やおやつ準備、テーブルの片付けなど、役割分担を毎日児童中心に決めており、児童の自主性や自己肯定感をあげる取組を行っている。
2	月に2回土曜日も開所しており、平日に出来ない野外調理や外出をしている。	児童からのリクエストを反映し企画を行っている。	野外調理時には、マッチで火起こしを行ったりラップをお皿に巻いて使用したり、災害時にも役立つ野外スキルを習得できる。
3	教え込まない「気づきの支援」を行っており、自分で考え行動に移すことが出来るよう日々促している。	いずれ社会に出た時に活躍出来る事を目標としている。	児童同士のトラブルも成長に必要な事と捉え、お互いの主張や事実確認を行い、どうすればお互いが楽しく過ごすことが来たのか考え、今後の行動に生かしていくように伝えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自分の身の回りの事が出来たり、気づきの支援が可能な知的レベルでないと活動に参加することが難しい。	行っている支援がグレーゾーンの発達課題を持っている児童を対象としている為	見学などを通じ、自事業所の特徴に合った児童を受け入れていくことでミスマッチをなくしていく。
2	下校時間によってはお迎えが重なってしまい、受入れが困難な場合がある。	送迎車が3台のみであり、一度に学校に迎えに行ける台数に限界がある。	一度帰宅が可能な児童には帰宅して頂き、ご自宅にお迎えに何うなど調整する。
3	外での活動が夏場は難しい(気温が高すぎる為)。雨天時も行えない。	外での活動を支援の根幹としている為、環境が整わないと難しくなる。	環境が整わず難しい状況の場合は、支援方法を変え、児童の安全・体調を最優先とし可能な代替支援を考案する。